（１０）　カリフラワー

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 苗立枯病 *Rhizoctonia solani*	1.床土は排水のよい無病のものを選ぶ。 2.換気を良好にし、床内を乾かす。			
2 軟腐病 *Pectobacterium carotovorum*	1.連作を避ける。 2.窒素質肥料の過剰施肥を避け、適正施肥をする。 3.排水を良好にする。 4.発病株は早期に処分する。 5.播種後から30日間の防虫ネット被覆が有効である。	本葉９～10枚	31	スターナ水和剤
3 黒すす病 *Alternaria brassicicola*	1.通風、排水を良好にする。			
4 黒腐病 *Xanthomonas campestris* pv.*campestris*	1.連作すると多発するので、最低２年輪作する。 2.発病株を除去し、収穫後の残茎葉は集めて土中に埋める。 3.排水を良好にする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.苗床では初発から散布する。 2.強風や虫害による傷口から侵入して発病することが多いので、害虫を防除する。	初発生期から発蕾期まで	M1 M1 M1	Ｚボルドー コサイド３０００ ヨネポン水和剤
5 根こぶ病 *Plasmodiophora brassicae*	1.苗床は無病な土を使用する。 2.前年発生したところでは連作を避け、アブラナ科以外の作物との３年以上の輪作をする。 3.石灰窒素を施用し、土壌の酸度を６以上に矯正する。 4.圃場の排水を良好にし、低湿地や排水不良地での作付けを避ける。 5.発病株は根部を含めて、完全に除去する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●定植前 1.石灰などとの併用で、より高い効果が得られる。	播種または定植前	29 36	フロンサイド粉剤 ネビジン粉剤
		定植前	21 21 29 36	オラクル顆粒水和剤 オラクル粉剤 フロンサイドＳＣ ネビリュウ
6 べと病 *Peronospora parasitica*	1.窒素質肥料の過用や肥料不足を起こさないよう、適正施用をする。 2.リン酸が少なく、カリの多い畑に発病が多い。 3.排水を良好にする。 4.発病株は早期に処分する。 5.収穫後の病茎葉は集めて土中に埋没する。	初発生期から	21 M5	ライメイフロアブル ダコニール１０００
7 菌核病 *Sclerotinia sclerotiorum*	1.発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って圃場外で処分する。 2.連作を避ける。 3.夏期に湛水可能な圃地は、高温時に２０日間以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発生初期	1	ベンレート水和剤
8 アブラムシ類	1.紫外線反射資材を用いると、成虫の飛来を軽減することができる。 2.育苗床では防虫ネット（１㎜目合以下）で被覆する。	育苗期後半	4A	アクタラ粒剤５
		定植時	4A	ベストガード粒剤
		発生初期	3A 4A 4A 4A 29	アディオン乳剤 モスピラン顆粒水溶剤 アクタラ顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 ウララＤＦ

カリフラワー

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
9 モンシロチョウ （アオムシ）	1.育苗床では防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。 2.幼虫は見つけしだい捕殺する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アファーム乳剤はオオタバコガにも登録がある。	育苗期後半～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
		若齢幼虫期	4A	モスピラン顆粒水溶剤
			5	ディアナSC
			6	アファーム乳剤
			11A	トアロー水和剤CT
			11A	トアローフロアブルCT
			11A	バシレックス水和剤
			11A	ゼンターリ顆粒水和剤
			11A	デルフィン顆粒水和剤
			11A	エスマルクDF
			11A	フローバックDF
			11A	チューンアップ顆粒水和剤
			11A	サブリナフロアブル
			28	プレバソンフロアブル5
10 ヨトウムシ	1.育苗床では防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。 2.幼虫は見つけしだい捕殺する。	若齢幼虫期	1B	オルトラン水和剤
			5	ディアナSC
			11A	トアロー水和剤CT
			11A	バシレックス水和剤
			11A	ゼンターリ顆粒水和剤
			11A	エスマルクDF
			11A	フローバックDF
			11A	チューンアップ顆粒水和剤
			11A	サブリナフロアブル
			UN	プレオフロアブル
11 ハスモンヨトウ	1.育苗床では防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。 2.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。	育苗期後半～定植当日	28	プレバソンフロアブル5
		若齢幼虫期	5	ディアナSC
			6	アニキ乳剤
			11A	バシレックス水和剤
			11A	ゼンターリ顆粒水和剤
			11A	デルフィン顆粒水和剤
			11A	フローバックDF
			11A	サブリナフロアブル
			28	プレバソンフロアブル5
			UN	プレオフロアブル
12 シロイチモジヨトウ	1.飛び込み軽減のため、防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。	若齢幼虫期	30	ブロフレアSC
13 タマナギンウワバ	1.育苗床では防虫ネット（4㎜目合以下）で被覆する。 2.幼虫は見つけしだい捕殺する。	若齢幼虫期	11A	バシレックス水和剤
			30	ブロフレアSC
14 コナガ	1.紫外線反射資材を用いると、成虫の飛来を軽減することができる。 2.育苗床では防虫ネット（2㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アファーム乳剤はオオタバコガにも登録がある。	若齢幼虫期	5	スピノエース顆粒水和剤
			5	ディアナSC
			6	アファーム乳剤
			6	アニキ乳剤
			11A	トアロー水和剤CT
			11A	トアローフロアブルCT
			11A	バシレックス水和剤
			11A	ゼンターリ顆粒水和剤
			11A	デルフィン顆粒水和剤
			11A	エスマルクDF
			11A	フローバックDF
			11A	チューンアップ顆粒水和剤
			11A	サブリナフロアブル
			13	コテツフロアブル
			UN	プレオフロアブル
			21A	ハチハチフロアブル

カリフラワー

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
15 ネキリムシ類	1. 被害株周辺土中の幼虫が潜む穴を見つけ捕殺する。 2. 作付け前の圃場の除草処理を徹底する。	生育初期	3A	ガードベイトA
16 ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）	1. 秋播栽培では早播きしない。 2. 育苗床では防虫ネット（2㎜目合以下）で被覆する。 3. ブロフレアＳＣははなやさい類で登録がある。	発生初期	5 11A 30	ディアナＳＣ チューンアップ顆粒水和剤 ブロフレアＳＣ
17 アザミウマ類	1. 紫外線反射資材を用いると、成虫の飛来を軽減することができる。 2. 育苗床では防虫ネット（1㎜目合以下）で被覆する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. グレーシア乳剤はネギアザミウマで登録がある。	育苗期後半	4A	ベストガード粒剤
		発生初期	4A 5 30	ベストガード水溶剤 ディアナＳＣ グレーシア乳剤